

令和6年12月2日

各務原市長 浅野 健司 様
各務原市社会福祉協議会会長 紙谷 清 様

第5期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画
策定委員会委員長 柴崎 建

第5期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画について（答申）

令和5年9月11日付け5各福政第109号並びに5各社協第255号にて諮問のあった第5期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和7年度～令和11年度）の策定について、調査審議を重ねた結果、次の結論に達したので答申します。

答 申

本策定委員会に付議された第5期各務原市地域福祉計画・地域福祉活動計画案については、基本理念をもとに、それらの実現に向けて必要な施策が基本目標ごとに体系的に示されており、住民相互の絆が薄らぎつつある今日の地域社会において、住民がお互いに認め合い、つながり合いながら、支え合うことのできる地域コミュニティの推進に資することが期待できます。

当策定委員会では、計画の内容について適当と認めますが、計画の遂行にあたっては次の事項に十分配慮し、各務原市が掲げる「やさしさ」を実感できるまちに向け、諸施策を着実に実行されるよう要望します。

記

1 地域のつながりづくりの推進

コロナ禍以降、生活環境や働き方、地域活動の在り方も大きく変化しています。近所付き合いの希薄化や地域活動の縮小は、地域共生社会にも大きな影響を与えます。社会情勢や地域実情に合わせた持続可能な地域活動の展開を通じて、地域のつながりづくりの推進に取り組んでください。

2 孤独・孤立対策の推進

社会環境の変化などを背景に、望まない孤独・孤立が深刻化・顕在化しています。孤独・孤立は誰にでも起こり得る困難である一方、行政のみでなく、地域や職場、様々なコミュニティと連携して早期発見や見守りなどに取り組んでいく必要があります。本計画では、新たに自殺対策計画も包含したことから、その要因となり得る孤独・孤立対策の充実に取り組んでください。

3 福祉人材の確保及び育成

地域活動の担い手の高齢化や人手不足が継続的な課題となっています。特に若い世代に地域活動へ関心を持ってもらうため、福祉教育や体験学習、若い世代と福祉分野の活動団体等とのマッチング、若い世代も参加しやすい地域活動の工夫など、地域福祉人材の確保や育成に取り組んでください。

4 制度のはざまにいる人への支援

社会情勢の変化等を背景に、「8050問題」などの分野をまたぐ困難や既存制度のはざまに陥る困難が顕在化しています。これらの困難に対応するため、分野横断的な支援体制の構築に取り組んでください。